昭和61年（1986年）3月24日　秋田さきがけ

遊雪 天までとどけ

スコップ1丁で100分勝負

西仙北町でスノーピラミッド大会

スコップ一丁を使って百分間でどれくらい雪を高く積み上げることができるかを競う、「'86スノーピラミッド世界一大会」が二十三日、仙北郡西仙北町刈和野の西仙北高校グラウンドで開かれた。雪を利用して、…（佐々木正光代表）が、ことし初めて開いた…。全国うと同町内の…三独立国「秋田カエル村」（佐々木正光代表）が、ことし初めて開いた…。全国の四つの…三独立国や県内外から二十三人が参加、雪と汗でぐっしょりぬれながらピラミッドづくりに挑んでいる。

このぐらいの高さになると、雪を担いで上る

トップは四三〇センチ

競技が始まったのは、午前十時三十七分。広いグラウンドの思い思いの場所に散った参加者たちは、サイレンの音とともに一斉にスコップを動かした。どんよりとした曇り空で風も冷たく、高台にある会場はとりわけ寒さがしみる。しかし、参加者は十分もたつと暑さを切らして、汗をかき始めた。

最も遠い"国"から参加した島根県松江市「おろち王国」の原田和憲さん（三十）と辻村修さん（三十）は、スコップさえ休まずに一つぎつぎちない。「島根でも雪は降るが、三月下旬だというのに積雪八〇㌢もあるなんて考えられない。それにしても雪ってこんなに重いとは…」と原田さん。三十分過ぎから両人ともギブアップ気味。

大阪「こやんか合衆国」から「賞金十万円をぜひ国家予算に」と勇んで参加した北浦造さん（三十）＝寝具販売業＝は「こんな雪、初めて」と、開始早々に本部のテント小屋のストーブで暖をとる余裕？

唯一の紅一点、東京「八王子市観光国外相吉岡利江子さん（三十）＝OL＝は、この日のために…ウエートトレーニングをしたとか。成果は芳しくないようだが、同国女王で旅行作家の杉田房子さん、佐々木正光さんの長女愛ちゃん（四）の特別援助を受けて頑張った。杉田さんは「雪国の生活の大変さも分かるが、逆にこんなに楽しいこともできる。カナダ・ケベック州でも雪を楽しむ祭りがあるが、この大会もそうなればね」と、ミニスコップを楽しそうに運ぶ。

岩手県和賀郡東和町から参加した多田泰さん（三十）＝役場職員＝は、地元刈和野出身の奥さん加久子さん（三十）の声援を受けながら、黙々と雪を積み上げる。「刈和野で何回か雪下ろしを手伝ったが、それとは随分違う」と多田さん。

…手強いのは、やはり地元の刈和野の生肉販売業…さん（三十）＝と、上着を脱いでの奮闘。肌着も汗ボンも汗と雪でびしょぬれ。長ぐつの中も水びたし。そんな…さんを、父親譲りの…（三十）。岩野さんより八㌢高い四三〇㌢積み上げ、見事年寄りたちが、「そんな積み方じゃダメ」とコーチする。四〇三㌢で三位に食い込んだ。

最年長は神岡町神宮寺の…（四十四）。「仲間？　仲間？　とうまいも…のでも食べに行こうかな」と…。「ことしは雪下ろしの依頼が多かった。でもやっぱり積み上げる方が疲れる」と話すが、会場からは「さすが」の感嘆の声しきりだった。

優勝賞金十万円を手にしたのは南外村荒又、自動車販売店員佐々木達也さん（二十）。岩野さんより八㌢高い四三〇㌢積み上げ、見事その頂上に立つことができた。「きょうは同僚四人と…た。きょうは同僚四人と、仕事そっちのけで参加した。まさか優勝するとはね。まさに優勝？　仲間とうまいも…左官業岩野堅次郎さん（四十）。「ことしは雪下ろしの依頼が多かった。でもやっぱり積み上げる方が疲れる」と話すが、会場からは「さすが」の感嘆の声しきりだった。

主催者の佐々木さんは「大成功。留学生が都合で参加できなくなったが、来年こそ世界大会にしたい」と張り切っていた。

これが雪のピラミッド"世界一"

昭和61年（1986年）3月24日（月曜日）

雪のピラミッド

―西仙北で初のイベント―

4.3㍍の佐々木さん優勝

やった世"世界一"―スコップ一丁で雪を積み上げ、その高さを競う"86スノーピラミッド世界大会"と銘打ったユニークな雪のイベントが二十三日、西仙北町刈和野の西仙北高グラウンドで、にぎやかに開かれた。

西仙北町に事務局のある…二独立国「秋田カエル村」（佐々木正光代表）が「じゃまものの雪を、ちえとくふうの活力に」と企画した初の催し。世界大会と銘打ち、海外からの留学生などに参加を呼びかけたものの、本物の外人参加はゼロ。しかし、大阪や東京、島根県などの…独立国からの"外人"と、地元の若者たち計二十三人が、町の人たちの声援を浴びながら、優勝賞金十万円をめざして雪との格闘に汗を流した。

競技は、スコップ一丁を道具に、百分間で、どれだけ高い雪のピラミッドをつくれるかを競い、最後は、自分でピラミッドの頂上に立つことが条件。参加者二十三人のうち五人が棄権、会場には大小のピラミッドが出来上がった。

勝負は、やはり雪を扱い慣れた地元勢の争いとなり、四・三〇㍍を積み上げた南外村の会社員佐々木達也さん（二十）が優勝、わずか八㌢差の四・二二㍍で神岡町の左官業岩根堅次郎さん（四十）が準優勝となった。

主催者の佐々木さんは「初めてにしては大成功」と笑顔を見せながら、八月には、河原の石を積み上げる"ごやんピラミッド大会"と、十月には、縄をなう技さえ、そのをどう巻きにした綱を競う"なわなではピラミッド大会"という、ピラミッド・シリーズを企画していることを発表、参加を呼びかけていた。